

菊の葉浪

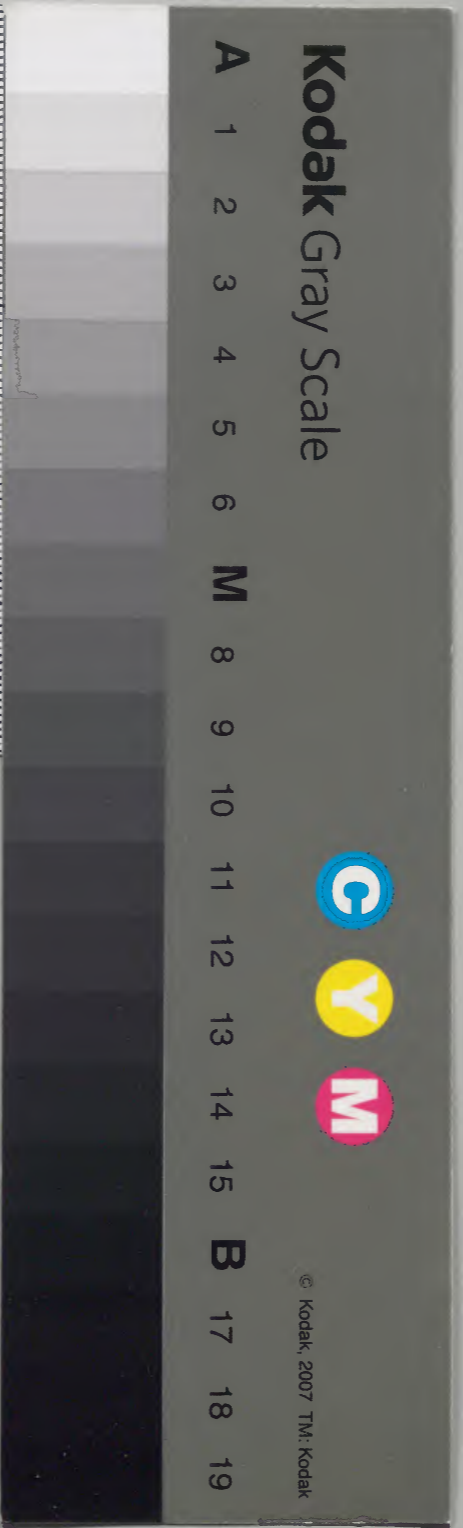
末義武免毛

部部部部部

和書門	一八四三六	二二八	一〇八
類	號	函	架
冊			

內閣文庫	和書
八四三六	一〇八
號	架
冊	

內閣文庫	番號	和 18436
	冊數	10 (8)
	函號	208 47



河の志き波



まの部



まの部
例
在更

[Faint handwritten text in cursive script, mostly illegible due to fading and bleed-through.]

明治十二年照求

まう心材 歸世七オまうこの親とありまうとい真人がり

おきまうりまうりといとも後世孫を教はれ後をりしより

年二の戸となりて真人の人も或ハ朝集不汝もやうふ

なまを但こふまうといしるまには知れといしゆ同

心し用ていつりていしゆあがり純守をきりてのたまふ

そふんい我より下のり人ホソや言ととるより又冊あ

るは同輩少といつりまうといまとうといふの界なり

新キサ新 ソコモトまうづ 譯 二井ル但こ此方一

うのむら 譯 まうりのあうなり アカル 泰上スル まうけのまう

材 桐 儲君とと太 子此新事とりふ まうけのぬ 譯 引出物

まうけまうら 新 コミラエスルまうじいら

譯 申ワケスル

材 まうの

まうぐまう 材 因まの まうは

新 純小在言恩 事とやうと者 ワルくウ ムリムタイニ

まのくし **譯** まの、ね かくくこイ まの

材 園 福の字と日本紀より延喜式に

悪事と古語に麻我許登とあり行

万葉を在言ともをあり世等の字の多なるを

より邪推するにてもおとらるべきに及ませし

新 スギヤイガウテナイマウスナまの **譯**

行 イツ 参上イタス トホル まのりま

新 イトマゴヒ まのりま **材** 相

まのなふ **譯** トリツクロフ トリマカナフ

まのをて **新** マカシテオイテまのい

材 園 だにこも目のとまのい

衆人の装束の袖におくは

まの **材** 目 目 目 目

新 也 眈 マブタ

まき

まきろく(き) **材** 陽まきろくへき几帳とあり まき

ろく **新** マキレテシレヌ まきからん **新** マキ

ラカス

まき

まきろく(き) **材** 松えりりなえし木とてなす(ぬ)まき

おろろ(り) **漢** 引ゴト イヒクサ(ま)ろく(き)と

にすら **新** ソハヲハナサス まきろく(き) **材** 圓枕

上を(り) **新** まきのて(き)に **新** 里と回一枕

まきろく **新** マケル まきろく(き)と

おの(り) **材** 明あ(り)く(り)れぬ(り)を(り)お(り)

り(り)ま(り)お(り)せ(り)り(り)あ(り)を(り)ほ(り)お(り)ま(り)を(り)か(り)し(り)に(り)回(り)し(り)又(り)躰(り)の(り)字(り)と(り)お(り)て(り)ま(り)と(り)な(り)た(り)と(り)も(り)し(り)と(り)い(り)つ(り)ら(り)ま(り)ろく(り)ほ(り)と(り)

明^{イロ}の^{イロ}後^{イロ}なりを^{イロ}ちの^{イロ}し^{イロ}ふ^{イロ}と^{イロ}お^{イロ}り^{イロ}く^{イロ}所^{イロ}と^{イロ}え^{イロ}ん^{イロ}ぐ^{イロ}り^{イロ}契^{イロ}云^{イロ}
 蝶^{イロ}漢^{イロ}語^{イロ}抄^{イロ}云^{イロ}加^{イロ}豆^{イロ}乎^{イロ}無^{イロ}之^{イロ}日^{イロ}本^{イロ}紀^{イロ}私^{イロ}記^{イロ}云^{イロ}未^{イロ}久^{イロ}奈^{イロ}木^{イロ}小^{イロ}
 虫^{イロ}乱^{イロ}飛^{イロ}也^{イロ}畧^{イロ}又^{イロ}允^{イロ}恭^{イロ}紀^{イロ}自^{イロ}註^{イロ}二^{イロ}蝶^{イロ}此^{イロ}云^{イロ}摩^{イロ}思^{イロ}那^{イロ}岐^{イロ}と^{イロ}あり^{イロ}假^{イロ}
 字^{イロ}に^{イロ}よ^{イロ}ま^{イロ}を^{イロ}お^{イロ}く^{イロ}た^{イロ}ま^{イロ}す^{イロ}に^{イロ}く^{イロ}と^{イロ}獨^{イロ}り^{イロ}き^{イロ}と^{イロ}ほ^{イロ}む^{イロ}む^{イロ}の^{イロ}な^{イロ}ら^{イロ}
 と^{イロ}わ^{イロ}其^{イロ}の^{イロ}乱^{イロ}飛^{イロ}也^{イロ}の^{イロ}な^{イロ}や^{イロ}く^{イロ}使^{イロ}と^{イロ}し^{イロ}い^{イロ}ふ^{イロ}と^{イロ}め^{イロ}て^{イロ}そ^{イロ}と^{イロ}も^{イロ}
 左^{イロ}に^{イロ}い^{イロ}は^{イロ}る^{イロ}も^{イロ}し^{イロ}ら^{イロ}や^{イロ}心^{イロ}の^{イロ}た^{イロ}る^{イロ}も^{イロ}同^{イロ}じ^{イロ}け^{イロ}に^{イロ}書^{イロ}か^{イロ}を^{イロ}

長新^{イロ}と^{イロ}身^{イロ}を^{イロ}
 此^{イロ}所^{イロ}の^{イロ}故^{イロ}
 此^{イロ}所^{イロ}の^{イロ}故^{イロ}
 此^{イロ}所^{イロ}の^{イロ}故^{イロ}
 此^{イロ}所^{イロ}の^{イロ}故^{イロ}
 此^{イロ}所^{イロ}の^{イロ}故^{イロ}
 此^{イロ}所^{イロ}の^{イロ}故^{イロ}
 此^{イロ}所^{イロ}の^{イロ}故^{イロ}
 此^{イロ}所^{イロ}の^{イロ}故^{イロ}

二^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 二^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 二^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 二^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 二^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 二^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 二^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 二^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}

ま^{イロ}け^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 國^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 國^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 國^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 國^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 國^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 國^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 國^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}

ま^{イロ}け^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}

カ^{イロ}リ^{イロ}テ^{イロ}ヒ^{イロ}カ^{イロ}ヌ^{イロ}氣^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 氣^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}

マ^{イロ}イ^{イロ}ト^{イロ} ま^{イロ}け^{イロ}ド^{イロ}心^{イロ}
 心^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 心^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 心^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 心^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 心^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 心^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 心^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}

材^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 材^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 材^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 材^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 材^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 材^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 材^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}
 材^{イロ}の^{イロ}ま^{イロ}け^{イロ}

ワ^{イロ}タイ^{イロ}

ま^{イロ}ま^{イロ}
 ま^{イロ}ま^{イロ}
 ま^{イロ}ま^{イロ}
 ま^{イロ}ま^{イロ}
 ま^{イロ}ま^{イロ}
 ま^{イロ}ま^{イロ}
 ま^{イロ}ま^{イロ}
 ま^{イロ}ま^{イロ}

まづつろ **材** 眞の字をまじふむを金の義にて眞に実

こゝろに依り真情なり人とつら心にのつらなきを人を

必也と言とおぼしめて世にいつたりなり其中に何れ

まづつろにのみならず不言葉不義をまじふるをまじふる心と

まじふるといふなり誠信等の字にまじふるなり

まじふるに言にまじふるの字にまじふるなり **新** ミニジ

ツまづつろに **新** マミヤウニ まづつろに **新** ホニ

ホニニ ホニニ **倭** ホニニ オ、ソレヨまじふるとヤ

倭 まじふるといふ **材** まじふるといふ **國** 人の才徳

新 オホギリヤウ

まぢ

材 眞筆のまじふるをまじふるといふ **國** 人の才徳

まぢ **材** 眞筆のまじふるをまじふるといふ **國** 人の才徳

ツキアヒヨウハシハヒシカキナリ
材 團 日 月 心 意

たてたる まきりひきろげ
新 カンニヤシラ

オコシテ メニカトタテ、 ツリメニナツテ
眼

新 タイカ
新 タイカ

新 ヲシ
新 ヲシ

新 マタホカニ
新 マタホカニ

新 <sup>ニト、
ニ度</sup> 又の年
新 翌年 又の日
譯

翌日 やぶ
新 子カラ ツイニ
新

新 ソロヒキツテアル
新 マヘメナマ

だた 譯 マヘヒロ
新 ハヤカラ やぶ
新

マダゲル やぶ
新 古 休
新 マダケテイキメフ思

やぶ
材 東
新 契云連の
字と史託

しや **新**ヌケメナニヤ **新**イキノコツテ井ル

イキテ井ル 老人のころ メタ、キスル アヲツ **新**

ま **材** 圓火の のふ ま **材** 圓 のふ ま **材** 圓 のふ ま

ま **材** 圓 のふ ま **材** 圓 のふ ま **材** 圓 のふ ま

ま **材** 圓 のふ ま **材** 圓 のふ ま **材** 圓 のふ ま

ま **材** 圓 のふ ま **材** 圓 のふ ま **材** 圓 のふ ま

新 人丸のめこ 里ト同ヤ **材** 冊 本の校

いア の **新**

Handwritten bleed-through text from the reverse side of the page.

ま **新** の **新** の **新** の

マ **新** の **新** の **新** の

ナ **新** の **新** の **新** の

マ **新** の **新** の **新** の

マ **新** の **新** の **新** の

新 マナボウケニアフ

まは

新 タイマツ まづ 新 ナニカナニマア

イナシカケニ ナニモカモヤメニニテ ナニカサニカイ

テマア まづ 新 セイトウラタズ まづ

田世を待心の糸にまづりちちなりまわちありこ
ちのちいとの反にまづりちちなりまわちありこ

マキツク ニタニウツイテ

井ル まづ 新 ツケマトウ ヤまづ

のふ 新 オリハナレズニニタニウナサルハまづ

材 新 ツケマワス

まて

新 クラ井 又常言に

おと

まといふ **新** フミマヨウ **譯**

メイワニスル
タウワク
スルあまよとよま類
敗

ニテラナキセナイ体ニナルと思ひまといふ
トホウニクニテハカムナヤニナルナリ

まとい **譯** ク

マ座ノヨリ合ヒまとい **材**

的射ナリ管にそまとい
の心をすくひたてん

まとい

まとい **新** イットナニニ

まとい

棉 目ツキ **新** メガスツテ

まね

まね **譯** まねスル体デ **新**

マニスル **譯** 口上にてまににの(お)の
有姓とまのに(く)とま

まの

まの **新** モクゼニニ ケンサイニ

あまのこやし

あまのこやし **新** きらゝひかりたつたもあつたにせうにいり
くまの光のむらいうまきうりしよふやう

て夕日おとしき 朝日まてりた **譯** メリアテ、ニラシ又
ひらけやまをゆきこいとまのり

カハコイ位ニ結構ナフニシヤハテハ風ハツカニイ

ウルサイ ちまゆき **材** **相** 目で見えていえる
まをりせりしよふ

入日と望^{ニル}ころ如く目をしてきくと思んかうちきんなる
まをりあかす **書** なたおをらるいあ

まの家のあまのこやし 目あてり見ぬまぬをうり又 **明**
みゆ使いとまをゆきこいとまのり **相** なたおをらるいあ
まをりあかす **書** なたおをらるいあ

まぬ

まぬ **材** **相** このひりまもたぬ **書** なたおをらるいあ
たふやりにまぬ **書** なたおをらるいあ

まぬ **新** まぬ **相** なたおをらるいあ **書** なたおをらるいあ
たふやりにまぬ **書** なたおをらるいあ

メツキカオソロシイ **まほ** — **新** マナサシ

まほ

まほ **材**

圖十七オウクちなりしとまほおもゆるりしうい
とりのほおまほともまよともまよむ子載集おむ

すけけのまよきらすともまよまよまよ ^{マカラ} 真青れこに用つるなり

又万葉にまよく舟のまよおも ^{マホ} 真帆ひりたれ

ともまよともまよ — 契之初のまよ子載恋三侍賢門院安藤

そなれ木のまよまよまよなれくむまよまよのまよまよまよとも

あいにまよまよまよまよにまよまよまよまよまよまよまよまよ

まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ

なるしとまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ

より假名のまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ

まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ

まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ

まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ

まほ

新 マカマナシ **まほ** にまよ

深

ロクサロニ

本式ニ **まほ** なる **新** マニロクナ **マ** ヤウマニ

ヨイ **まほ** なる **深** **マ** ロクサマ **マ** ナケレ

まほろくせしむるまき **材** **繪** さうのふにうんまの
所らおろまをてまほれ

らうき目地まをゆはとあまま
した日地極れやにまき書うつとま **まほろく**

新 イツナツカに **澤** 人魂の形をうりて面氣げん
ゆをとり又ゆたれたまふりて

て身よりあろ
鬼とソ

ま

ま **材** 遠乳おの総 **新** 源 **澤** 源成物治
名なりとま

見えたり乳おの
知あろれま詳

ま

ま **材** **柄** まをまもしたゆらてしゆて契云方七に
ち舟とりまにうへやねはまふりて

ま **新** メツキ
まをまも目とあはておま

目つきとソ之玉津目なりとのま **新** メツキ

メモト **訳** 目つき 目見之 **ま** いといた

材 **柄** ソを痛く見 **新** メモトモタルソウニ
まをまも目とあはて

病者入
イキナリ

まめ

まめ ⑤ ⑥ ミニミツ シツテイ まめノ ⑤ ⑥ 材 実入り
合入り

こころの事を
まめに ⑤ ⑥ ⑦ リナキナ まめを
あつ

⑤ ⑥ カタクロシイ ジナメナまめたち ⑤ ⑥ 材 まめを
実入り

といふおまの事にもちや世間事にもまめ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
たらしめとりに契 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

まめたち ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

ツニモナコム まめやめに ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

ニタ体テ まめやりにを ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

めくしき ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

まも

まもりの材 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
契云々のりのり守目なる後拾遺書云々
伊勢此書云々わんぐんすうぐりのありて

そのりめかすつけせめいしーめいおもくろてひかりにち
化えとくこ傳りるとそ推ニ位のすめ同各あつとそ
人とちん **新** ノツケ 後又源まもりめつとら **新**

ハリバンヨサセル

まよ

材 葉はしーねのすこーまといふつまよりと
りしちまといを葉にもあまざりあつたのま
よいさこいしくやれいさかる貴きあよりややれいさ
とよねをりしとよへられど物徳のさほろしおのり

新 万葉に衣れる にソい係に箇ニ

ヤフレタトコロ

新

フミハヨウ

まよ

まよのあがりうちどがり

材

新 まよのつむくと
るあろ知れとるを

まよ

まよ

まろ **新** マリバ

鞠場

おれ

おれお **新** アイダニまれまろ **新** タニト

ナイ おれらなる **新** タニトナイ まれく

のしうらら **材** 多くなた見 **新** スクナイ
まろとソコ

キヤウダ ^兄 _弟 イ

まろ

まろ **材** 鬪世ハ貴賤老若ともに 我身と福しうらら
言とこえうりこくとお君のふるさとソコオの

字とのおもむに對して才無と **澤** 男女共に自稱河原
圓とソいてり稀とまろまろ

らあり今の世男あふいせ方か **澤** まろのん **澤** まろのん
ひふまこキヤとソコウと

まろなるの **材** 故頭のみしうららあり
故頭のみしうららあり

まろ **新** ボウスマタマ

まね

まねる 譯 参上スル サミアゲル メシアケラレル

酒食あり 衣着用アル 衣服あり

[Faint handwritten text in cursive script, likely bleed-through from the reverse side]

詞の志波

詞の志波

新

詞の志波 材 貞佛前の 譯 ぶつたニイウメク

詞の志波 新 セワシヤク みあつらほと

材 榎 ともりぬなり見たりまも
ひまににて急がらるるまたり
言く賀茂祭此日のまこと日記に玉依姫の
別雷神を生きたるまたりとソヤとまたり
材 藤 御

こい

こいづり 新 ニツケル

こお

こおとりに 譯 聞及ニダ程モナク見テハアイソガ

ツキル ことせす 譯 コラニジサダラレル 源氏 明石

こわ

このけふ 新 オカゲテ このけふりとかあへ

新 オカゲテ このく 新 里ト同 ドクこのいせ

新 カホヲミアハス このとれ 譯 水おのく このの 水たり

とれ 新 ニツニカクレル このとる 新 水 クニツニカ
水

こく

こくろ

澤

俗ウツヤ同し又見ル日ガ笑止テ
キノドクナとソテウツヤ

こくろ

澤

なわさうね

材

寄せ九方ころ目のろりま
なり見さうねをまはる

こくろ

澤

けい

材

将衣束と調ゆる所なり
けい 掃運なるに

こく

らま

材

土藏なりこのちいさく
へたをらるりなり

こけ

こけ

澤

はま

澤

はまのホドリオウカ、に申ス

こけ

澤

こせ

澤

こせにアカル

こせ

こせ

材

御國忌なり
天子のほ忌り

カチ

こせ

澤

出産

澤

こせ

新

の木

こせ

に

新

水

こせの中ニアツテ

⑤ 三ツノ中ニシ
之

之由新フニバリ モチヘノヒトキガリ イキヂ

之由を澤 行儀タテ みさほ小 材 ⑤ 十八才ニ
すかにもと

ついで之らりやすにありこそ
かき常後不所おとしやま こそをつらる 澤

キツト守ツテ井ル 之さく 澤 宇治拾遺おとふ
声こ又衣の水ぬ

あり貞 こそさく 材 ⑤ 之はくうのつりさめりて
とあり庄園なり領地こ 新

ゴツヤウブン

こし

之らろく 新 ニウギスル 澤 身動キムズツク
すく

之らろキ 材 ⑤ 之のウキ
よりあり 新 ニウゴキ こそし

一のし 澤 位のささく こそ一の材 ⑤ 東たうな
ぬともりふ こそかき

と何やまは候よりふ
短ハイヤキ こそかき心 ⑤ ブキヤウナ

こいいとこのと材 園まきを猫をさうていつり万葉に
なるときんをもちる人房をとかりり

人房と 新 二タトヲニナイ

こい

こいこく 材 園目かこいこいせおわかあまのこいこい
まといのいんあまにといんあまこいこい

こいこくうぞ 新 三十カニニセズニこいこい 新

こいステル

こいこく 新

こいこく 新 三セタイこいこい 新

三セタイ

こい

こいこく 新 十イニツこいこいに 新 三ツくニ

ヒツカニ 十イくソツト 新 新 カク

シテハナシスル ミツクニハナシスル こそこの男は

る **新** 父おりのあつた **新** ミツクヲスル こそむる

新 ハシメテミル こそあま **材** **夏**

といて三十文字あま **新** といて **新** といて

こそ **新** といて **新** といて **新** といて

新 **衣** **新** **衣** **新** **衣** **新** **衣**

こそ

み **材** **御** **新** **御** **新** **御** **新** **御**

み **新** **コ** **新** **コ** **新** **コ** **新** **コ**

み **新** **メ** **新** **メ** **新** **メ** **新** **メ**

かわ **深** **ラ** **深** **ラ** **深** **ラ** **深** **ラ**

ナイ **材** **材** **材** **材** **材** **材** **材** **材**

ほみやえき子(新)ミスホラレイみたてま

つりたき(材) 葉下五十二オ、あつて見奉りたききり
くま人の病とあつてあつて病と

こち

こち(材) 田途中にて人こちのい(新)ユ
のゆきこちりきり

キナガイニ 乃ゆきぬき(新) アルクツイテ

アシツイテ(新) アシツイテニ
足

みちもきん(新) せと(新) せと(新) せと(新)
なせと(新) せと(新) せと(新)

こち(新) ヨケテ井ルモナク(新) せと

道(新) 子細ラニイ(新) こちのえにの(新) 材

困(新) こちのえにの(新) あつて(新) せと(新) せと(新)
檀紙なり(新) せと(新) せと(新) せと(新)

こち(新) 材(新) せと(新) せと(新) せと(新)
て(新) せと(新) せと(新) せと(新)

こち(新) せと(新) せと(新) せと(新) せと(新)
せと(新) せと(新) せと(新) せと(新)

いそりたのこののふりてとりかたをひらかなふい
たかたりは方にしりくそりたり是又もとりかた
常れまらやうも夜なと人にあいれけをいたらあ
まとしてんたり目安のほち夏此用をとい
しりこののひるをさすにうらるとい

こつ

えりくみて材 圓老人の丸れりぐざりうるときり
えりこのま別りけをらものあま

えりくむ新 フシガカガム トニガヨツタ コニガ

フタエニナル 極老才 腰膝 ののまらなり 新 コニガ

カガム えりきたる 川とまきて木を 新

るすく 寄人とふとれあいのくま 新

もろす 新 ナカノヨイ 新

とまふし材 松つくりをいたる水のおしないとあやを

やり水に因おもやりあのみ事あり 新

① 鬪水の心 なま ながし ゆり くに ま り く ながし に なる て 泉水の
家にとま やう に 細路を あ の う くに い たり たり こ ころ は 夏

は て い さ さ の ん に 澤 田に水とカケルにみきさふ

つ の り 新 水 ヲ ノ エ 馬に こ ろ い じ や 材 鬪水 心

か し は る に と の う く し な し ら い り 泉 水 の 家 に と ま き
やう に 細路 を し の こ に い ら り こ ころ に て り て り

い さ さ の ん 澤 田に水とカケルにみきさふ

② 新 水 ヲ ノ エ 馬に こ ろ い じ や 材 鬪水 驛 たり 本 は
宇佐 の 使 を り

い い 出 る ま り 駅 を 湯水 け り り 人 馬 の 給 と ら と し 人 を
飲 と さ い 馬 は さ ら し り ふ と 飯 や と ま り 榊 平 を 男 踏

哥 乃 時 人 に 飯 食 を も て し り に 借 り 用 を し り が
下 亭 の 餐 食 を は 飯 む ま や と よ い り 新 口

ト ワ ガ テ ニ 吉 ニ 吉 ニ に 新 イ ツ パ イ ニ テ ル

こ の と ろ 新 ニ ツ ケ ル こ の と ろ 澤 ナ シ ム

源 氏 の 繁 榮 を お さ し き 人 を し る い は り も す に あ ら う
か る ま り の と い 住 つ く く い の と は あ ら う

か る ま り の と い 住 つ く く い の と は あ ら う

北とも材 困琴詩酒のちろろ 材 桐童子の

蝶 ちろちろりさきんころん(居る)あらゆいてさきんころん

ちろちろりさきんころんを角髪としり梅お髪も高直に

わけいろう学(故)角髪とさ飲ころらる屈髪なりと和名

抄(居る)さきんころん

ちろちろりさきんころん **譯** ビニツラユフ みづー **材**

編 書架なるりゆ厨子と書りけ次おつーとハークも

ありさきんころんも書とカラものど書厨とさり

ちろちろりさきんころん **材** 明石ころんのもてころんさきんころん

^{ツル}居るのまにほて神り

ちろちろりさきんころん

ちろちろりさきんころん

ちろちろり **新** スツキリ ちろちろり **新** ミツクライシ

ヤル ちろちろり **新** トレットモヒツクルメテ ヒト

ツルメニヒツクルメニ **譯** ちろちろり

ノヨラス ちろちろり

くはやあらん **材** 思ひなすし りやうこほし こま **新**

ヨイカゲニナミヤウ こま **新** ミアテガウ

又たひきつなす **新** ソレニスル み あふく

新 ニナレル 見馴るお ニナレル らけても

なれ **材** 松 こま なれ を お れて 別 り く わ と を ん が ま を

なれ **材** り 見 て 別 も 傍 て あ り く な り ん が ま を

なまてら **新** ミツケテ井ル こま なれ ご あ も

材 **葎** 身 に な れ **新** フダシキテ井ル キ モ ノ 身 こ

な ふ く **新** 谷 が し 一 落 て 死 す ら を も 拾 に 兜 の た ふ い し 身 と な け が 又 山 に り を も ふ ミ シ ラ

ナケル こま な れ ご あ も **新** 三 十 三 ウ ケ オ モ

テムキンガニキ

こゝろ

こにおとぬ **新** ブンソウオウナ ミブンソウ

オウカラダフサウオウナ 不相応 ミランニスギテ 身小

このあて **新** フソツシテ ミモカマワスニ カラ

ダモナケ出シテ 夕にまじ **新** カラダニシユミヨム

ホ子ニニコダエルこにおまる **新** フソウオウナ

こ乃

このろ **新** ミガノル 草木 このろとまろ **新**

ミソフンサイヨシル

こし

こしやと **材** 固見え 實美すなり **新** ミテ

シヤウビスル **澤** ホメナグリガウ見物スルこしや **新**

ミタイこしや **新** 美に多く ミイマテミヌ

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミヤノシ **材** **零** ミヤノシ **新** **尊** 尊称

ミタイ こまのふ (新) ミチガヘル 月をのめる (新)

シヌル こまのふ (材) 牛馬を飼フ

こまのふ

こまのふ みくらち (材) 鬚女のさきまの髪を耳よこすし

あまのふ みくらち (材) 鬚女のさきまの髪を耳よこすし

ちり みくらち (材) 鬚女のさきまの髪を耳よこすし

小(新)ガセイニ 女をうり源 みくらちのく 世に久 (材)

闇老人の耳とわくとて人の言のあまやうにやえぬなり

みくらちのく (新) ミ

ミガトライ みくらち (新) キ、ワケカハルイ ミ

ミガチカイ こまのふ (新) キ、ワケガオソイ

キ、ワケラレヌ みくらち (材) 耳に物の音を入す

わあぬ みくらち (材) 鬚女のく こまのふ (新) ちり みくらち (材)

みくらち みくらち (新) ミ、カチカイ みくらち (新)

キ、ナレル キ、ツケテ井ル キ、アイテ セ、ドキイタ

み、このまゝ ① ② ヤカマシイ み、やまゝ

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

ホウ、み、につけたら ① ② ソレ、く、ら ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

こ、め ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

み、め ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

こ、も ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

え、も、あ、い、び ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

に ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

ル、マ、ウ、ニ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

も、ま、じ、ら、ゆ、に、と、あ、を、ま、お、と、り、ま、を、ま、れ、い、あ、つ、た、り、

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

こまや

こまやもいなるも **新** トコモカニコモ こまやもつら

やも **新** トコモカニコモこまやつら **新** ホウ

コウスルこまやづの **澤** 御奉公こまや **材** 園も

いやくとらやこまやいとら **新** 御奉公こまや **材** 園も
いさあや文采のうらわ **新** 御奉公こまや **材** 園も

伊 **新** ヤサシイコト **澤** 風雅ノミナ **新** こまや

こまや **新** ヒシノヨイ **新** こまや **新** こまや

澤 品カエイこまやいのに **新** ツヤクトこまや

いふりし **新** ヒシノヨイこまや **澤** 風リウ入

こまや **材** **桐** 注し皇子と生奉りて後 **材**

こまや **材** **桐** 注し皇子と生奉りて後 **材**

桐 御休 **材** **桐** 注し皇子と生奉りて後 **材**

此時のまゝに伽羅沈などをとたたくるなり
たきものときろりの香物を合をせらるる

こえん

こえんのこまじりる **新** ミエタリミエナシガリこえん

い **新** ミエタモノカニエヌ こえんらんえん **新**

ミエタリミエナシタリ

こえん

こえんりゆまら **新** カラタフサウオウナ ミフンフサ
不相慮

ウオウミドウヤあまれる **新** ミブンニスキテ

こえん

こえんくしりなき **新** ミエルーガスクナイ

こえん

こえん **新** カイホウスル 源わ看病 **新** ミ
あつて

徳小野村味中

イ三イ、こゝろめなまき、**新**ネカラミ又 恋お海松和布

これ

これとわらぬ **新**ミテモくミタラス

こわ

こわふ **新**ヒトメニミヤル

こわ

こわ **新**水筋こわはし **新**舟ノ通ルニルニソ棒

グヒこわつと **新**イノキニフ又をせのこのオノと
よに日一 生がイ死ルマテ

新ミラコニスルこわつと **新**遷標およカ
粉 せても

ラタラ粉ニシテ **新**こわはし **新**杖 **新**うき身よつと
ゆるあもともあや我

身あつまん **新**こわつと **新**ミニツササレテ **新**こわ

わあ **新**カラタガフタツホシイこわ **新**こわ

けて**新** ミラフタツニシテ ヲとわけてーり**新**

カラタガフタツホシイ ヲとわくる**新** エコ

ヒイキスル ヲとわくるーものふ **新**カラ

ダカフタツホシイ ヲとしる**新** ミノブンザイ

ヨニル ヲとすつる**新** トニセイスル カラダイ

ナイモノニスル ヲとやく**新** ミモタエスル

ヲとすふらに**新** トニセイスル ヲとすやく

ころら**新** ミラキラル、ヤウナ エとくぐく

新 ミラコニスル 粉 ヲとすふく **新** ミラナゲル

こまじしふ **新** ミガナル 草木
なり

河のまき波

むの敦

むの

むのし **新**ムカシむら **新**ムカシむり

新ムクむの **新**ムカシ **新**ムカシ **新**ムカシ **新**ムカシ

デムカウ いぶ びんばはりて 村 團人のたぐい 腹
ちるふとありあ方

火 あかり 得免 い 景行記 あり ぶり むい びつ とら 新
白焼 而得免 い 景行記 あり ぶり むい びつ とら 新

コタワリシ心ニコシラヘテ ケシカケル 純 白焼 カキ ニラ

タテル ヒヤウニハウタテアウ むい びつ とら 新 白火

なり人の暖まむ我も むい ばら 村 柳 むい びつ とら 新
暖まむ し むい ばら 村 柳 むい びつ とら 新

是のあり今の母の むい びつ とら 新 後妻 子 ツ シ ノ コ

むく

い ム ル イ 澤 ミ ク ル ミ イ オ ソ ロ ミ イ キ ミ カ ワ ル イ
尾張の田舎の詞マムツケタと云 昂是なり

む ム カ キ 村 もの む ム カ キ 村 新 コ ワ イ

む ク シ 材 圓 お ち く し む ク し あ た と 一 ん く む む し
む ク シ 材 圓 お ち く し む ク し あ た と 一 ん く む む し

澤 む ム カ キ 村 む ム カ キ 村 新 コ ワ イ む ム カ キ 村

新 む ム カ キ 村 へ ニ ホ ウ

いけ

いげ

例

一向

文

しげ

材

歸

むけ

と

河

甚

所

より

い

いけ

例

一向

文

しげ

材

歸

むけ

と

河

甚

所

より

い

子カラ

澤

一向

ムクニ

例

イツカウ

トニト

マウ

トニト

し

ル

ナ

ヤ

澤

一向

ギヤ

む

し

材

相

いつ

と

ニ

キ

リ

ナ

リ

ナ

リ

ナ

リ

む

新

シ

ヤ

ウ

ド

ナ

シ

ニ

む

し

材

葉

い

ん

ヤ

と

ハ

シ

テ

ハ

シ

テ

ハ

む

澤

無

心

ナ

リ

シ

ハ

シ

ハ

シ

ハ

シ

ハ

し

新

ム

ゴ

ウ

む

ん

ヲ

ホ

新

ソ

シ

ラ

ヌ

カホスル **む** **づ** **ん** **ら** **新** **ム** **ク** **ニ** **ナ** カケカマハヌ

い **ー** **ば** **心** **新** **ム** **シ** **カ** **ク** **ラ** **ム** **シ** **ス** **ル** **じ** **ー** **の** **こ**

材 **野** **虫** **の** **こ** **い** **ま** **に** **あ** **う** **の** **い** **を** **新** **ム** **シ** **カ** **ゴ**
虫籠をふて 虫籠

い **と**

む **い** **澤** **生** **ひ** **る** **の** **ナ** **ミ** **治** **り** **り** **あ** **ま** **し** **み** **た** **若** **む** **い** **と** **を** **い** **ん**
佐にこいすりのいせも田こなり

出 **材** **鬮** **許** **し** **す** **こ** **の** **ま** **ん** **し** **い** **じ** **水** **を** **掬** **スク** **ラ**
たちまありを息男こ

む **い** **大** **む** **ら** **る** **新** **ク** **ツ** **ク** **ガ** **オ** **イ**

む **ち**

い **ち** **を** **お** **わ** **ま** **新** **オ** **イ** **ヤ** **ル**

む **つ**

い **ら** **を** **た** **す** **材** **因** **ど** **ど** **く** **き** **ま** **う** **ん** **言** **ち** **の** **因**
むつらありとありむつらありて

たらなるしとえうり日本紀小慎をむつらりと訓すは
ととく言ふにも下にうめることなを今をり

むつり 材 はらたて、 むつり 新 ミニキワカヌ キニヨク

ワルナル ハラタツ、ナク 然くイフ 純小憤 むつり クリコ

トイフ 譯 ハラタツ イリクム むつり しけ 材

歸五ナウむつりげさうこちてとありここの落子をも
さうこちをさうりい一アし心アサカふぬさすといつて

むつり ル小 新 モリサリト むつり むつり

けなり 譯 ムサクロ セイ メニダウナ むつり

新 キタナイ ムサクト ミタ ウツキタナイ む

つと 材 歸十七カこも男女の口をいといは久あつて
私言むつりいいたしあつて二十一年の

字をよ 新 十カヨウハナ ミスル むつり 新 ナカヨウ

スル むつり 材 しつり むつり 新 ナカヨウ

スル むつり 新 ナカノ ヨイ

むつり

いねあぐ **材** **桐**胸のいづこ思いとろくきつり又 **栗**む
ねあぐもろりし **杉**も **年**以の **丸**の **も**ろく **出**

えりし **新** **タ**クガヤム **い**ねあぐ **新** **キ**モ **十**ガ

ジウグニ **新** **イ**い **い**ねつ **と**や **こ**がら **新** **ム**ネ **カ**イ **タ**
板

ヤウニナル **い**ねつ **と**ら **材** **困**おとろく **と** **又** **新**
ねをいづれもきこわす

ムネカイタラヤウニナル **澤** **キ**ガ **モ**ヌル **タ**ウ **ワ**ク **ス**ル

いね **と** **ら** **は** **澤** **キ**ヲ **モ**ム **む**ね **と** **一** **梨** **材**

栗 **い**ね **と** **ら** **は** **と** **今** **に** **い**ね **は** **け** **て** **大**
お **な** **け** **と** **ら** **と** **も** **と** **ら** **り** **胸** **と** **ら** **と** **と** **新**

海 **を** **お** **し** **ね** **と** **ム** **ネ** **ガ** **セ** **ツ** **ナ** **イ** **ム** **ネ** **ガ** **ハ** **リ** **サ** **ケ** **ル** **セ** **ク** **ル**
いづれもあや

シイ **キ** **カ** **イ** **ラ** **ク** **ス** **ル** **ム** **十** **サ** **ワ** **キ** **ガ** **ス** **ル** **澤** **キ** **カ** **イ** **レ** **ル**

いね **つ** **ふ** **は** **ぬ** **し** **と** **あ** **る** **材** **葉** **お** **を** **ろ** **い** **た** **キ** **と**
いづれもあや

鳴 **り** **と** **新** **ね** **と** **ら** **ツ** **カ** **エ** **ガ** **オ** **コ** **ル** **コ** **イ** **ラ** **コ** **ラ** **ヘ** **ル**
いづれもあや

いね **と** **ら** **新** **ム** **ネ** **ガ** **ハ** **リ** **サ** **ケ** **ル** **ム** **十** **サ** **ワ** **キ** **ガ** **ス** **ル**

むねむしうの **權**ニハウキヨトモ **新**ムネカハリサケ

ムネサワギガスル **新**むねも別けてスエウ **澤**はむねの

エタこのり **新**むねにてとまきくろやう **材** **權**おとくまき

むねあしわに **新**ゲビタヤウス **むね**とあり

澤オモナニ **むね**と云 **澤**オモニ **むね**

くした **新**こッカリトニタ **むね**くしりかぬ

材 **貞**大キナリを棟くまきと云 **むね**くしりかぬ

澤オモタヌ **むね**と云

平 **むね**

むね **材** **權**親王ハ一品より四品ヤスあり **五位**

むね **材** **權**親王ハ一品より四品ヤスあり **五位**

むね **材** **權**親王ハ一品より四品ヤスあり **五位**

新クナシラテワラフ シメワライスル

じも

じもんのうすおんど 材 関むのうのはそにみい
色のほしこまのひをさき

なまゆめれすこまや無文の上の御衣是いけいめ文の
平絹色の穰シロかりとまり冠も無文のうまかり鈍色のシロ襲

異なりあまのふとい常れ巻シロやまありと相交カヒサセの
トヤまらんと巻シロやまありとらひめりといアしこり

あきい
暖かり

じら

じらい 例 無禮 じらい 材 きれ じらい さら

新 三ツレイナブツツケナ きれ じらい 新 ヒト

カタリツ、 じらさたのかこ 材 権 茶の紙、
らちろ物あり

凡茶紙紙とい万所くありて 関むまのまの紙
おとらりまありといありくともる紙と困茶の

紙乃年ゆくあまはりい
おとれやうあいたちあ

じま

じま^新トマノト ^ガガクトカタマツテい

れま^新鳥 ^カカタマツテ井ル ^いいれか

^カカタマツテ井ル

いり

じまの^新材 ^光光りやうて ^室室のか ^台台もやうんて

河の^新波

めの部

めい

めい^新メニボク ^めめい ^かかくな ^新新メニボ

クラウニナウ

めう

めうつし **材**

團とんりそんしと
等につりりそんし

新 ツキヘラツル

眼メ

擇

一方をき物とてんり目あて
又こりこりそんしづりり

め牛の腹つりり

澤

著聞集小のえりりわたりりゆりりそんしにあいりり
たもそりりカに犬ニキラハシタとソアッ似りり

めた

めたや **材**

葵 母
親也

めあ

めりす **材**

それと分め身ゆりりそんしに
いア上りりそんし

新

カホツキスル

何めりす めりれい

澤

目ハサスめりれぬ

新

メヲハサスめりれい

澤

目ハサスめりれぬ

新

メヲハサスめりれい

新

めく

めろりあり **新** トゴゾデアフ先とる **新** クルく

マールめくらし **材** 国運ありせふめくら **めくら**

めろろふ **澤** 存生テ月日ヨ立ルめくらりに **新** ぐ

浦とつらむの **めくら** **澤** メマセテニラセル
リニ 同之万廻と多あり

めさ

めろまき **材** 桐めさむひのおおし先とめくら
とあり 澤 冷眼まてめくら

まろろろ世仕う目にあまめくらとをまろろ **澤**
小まろろてめくらとありふんものた人アともあり

見えておろろくむ **新** メニアマル 子ムタイメモサメルク
かつのこつとあり

ラ井こめ **澤** 心のうまに目れまむら後のみを
アキレルイカニイ ミニクワイナ

め

めろろど **材** 蝶めろろととふえけまのつする人の
アとあり 澤 人より毒のソナを架

新 テカケ **澤** オテノカ、ル女中

めこ

めここ **材** 桐縁のちとを深れと便道と云ふなり

これ屋根のこありて土の上をまてゆく道に

まてかみ板の馬道と書て向堂之道と云

せりし時めここのこまてと云てなり

めつ

めつ **譯** 愛之貴翫 **新** 三ヤウクハニスルめつら

しげなく **新** フタニノニナツテ ハナニツクホドニ

めて

めであさみ **新** 園世オめでいふいぢぢすことあさけり

れまありせよまことめてちめらそねむ **新** めてあさい

アイツカツキル **譯** けツカウナ ウツク

ミイ **新** めでたき **新** ムキツナ キスノナイ

め大系

めなり文 **新** オナシクラ井ナ人 古花うらこ めな

れて **新** ツ子ノフニナツテ めなまき **新**

セント云々 ミツケテ井ル ミオシテ井ル めなれ

いふや **材** **困** 多く見

めに

めにかけて **新** メガケテ めにみま **新**

ミモツテクルニ ミオヨビくスルニ めにちまき **新**

ハナノサキ

めの

めのいほりて **材** **困** えまひま めのい

とまいる **新** ミルニヒマカイル めりほ **新**

モクセニ めのこ **新** ヨイカゲニナミヤラ

めのやう **材** 柳戚夫人の見けんめのやうにもあり見けん
うまごゑのやうもしてしきまを暑くしてみんとい

め **新** ラバ

め

め **澤** しめしめ
うらこ

めも

め **材** 柳戚夫人のやうに柳戚夫人のやうにあり見けん
うまごゑのやうもしてしきまを暑くしてみんとい

め **新** メモノロツクホトニ 見ろ物の
上よみ

め **澤** すまはて草薙なるまきこゝまたのえ
まかりとまきニルモカハユイ位十ヤ

め **材** 柳戚夫人のやうに柳戚夫人のやうにあり見けん
うまごゑのやうもしてしきまを暑くしてみんとい

め **新** メ

め **澤** 目まはて二見けん
うまごゑのやうもしてしきまを暑くしてみんとい

め **新** エンホウニ

めや

めやま 材 見まき 材 目やす 譯 見おとく 材 わり
ナニがナイ

めやま 新 ミヨイめやま 譯 ミクルミ

カラヌ又

めり

え 譯 下つてくしてふと 材 下三エ
ヤウスギヤ云こト三エ

めを

め 材 田 材 人の目とぬ 材 意なる

新 メヲヌスム 目をなげ 譯 不 材 側

目 新 メノカスム 材 コスル 老眼の

詞のき波

新 サテモク サテモ
 あい
 かり

新 サテモク サテモ
 あい
 かり

新 サテモク サテモ
 あい
 かり

新 サテモク サテモ
 あい
 かり

もきした材 材 困板をな 材 木本あり 例 花や板葉やをまが
糸くろもまがれ

⑤ サテニも 一サテニ

もていふ 材 例 花や板葉やをまがれ 材 木本あり 例 花や板葉やをまがれ

もまもたす 例 花や板葉やをまがれ 材 木本あり 例 花や板葉やをまがれ

もまもたす 例 花や板葉やをまがれ 材 木本あり 例 花や板葉やをまがれ

フツツテ井ル

もー

もし 新 モミモ 例 づら 新 ラツヨウカク

もーハエ 例 澤 例 アルヒハ又ハ漢文読 例 是ともーくいふ

もて

もて 例 取向アミラヒ 例 丸マヒ 新 ナリ

フリ 例 澤 例 トリアツカヒ 例 トリムケ 例 アミフヒ 例 トリ

ギヤウ もてなす 例 フルニフ タナフル マヒガル もて

ナモ 材 野 郷食 應ずる 新 キソウスル キヤ

ウオウスル 澤 トリアツカウ トリナス トリマカ ナブ 又其より をゆるふともいふ

もてつけ 材 束に もてつけ 束に もてつけ 束に もてつけ 束に もてつけ 束に もてつけ

もてつけ 澤 人 もてつけ 人 もてつけ 人 もてつけ 人 もてつけ 人 もてつけ

もてつけ 新 ヒツケル 添る も ソエル も

もてつけ 材 相 人の 相 人の 相 人の 相 人の 相 人の

もてつけ 新 ヒヤウ ハニ タネ イ

ヒクサ もてつけ 材 世 もてつけ 世 もてつけ 世 もてつけ 世 もてつけ

もてつけ 新 トリ ナガ エ テ

もてつけ 新 トリ ナガ エ テ

もてつけ 新 トリ ナガ エ テ

ゆく(新) 子モトガクサツタイク 古笹ふ もどるあふ

(新) スマヌー、イハレル もどきさあひなん (材)

楽 知き入とぬすこわたりとまどきこあひなんとありもこ
きとん人ーとら免らろくかりまどきと我刃にみるなり

もどく(新) ソウハワルイトイフ (譯) ア、デハナヒト

批判スルもど(新) (譯) イカバシイ俗もを
ラチカアカヌハガユ

イとよふことにはもど(新) (譯) 園人か
せれよるふらぬ同なま

もふ

もが(新) マツサイチウ マニ十カ (譯) マツツバナカ

もの

もの(新) (譯) 園 園の園おひぬ なまらうしく 吹あかして
ものよりたにけがくおわらうくとあまお

もの(新) (譯) 桐 桐のつくこーはけても
マキこきり ものあまらなるし

りやめれはくおつけてもおわえきうりしき
此のときいを指すあありしきや譯なり 物(新) 物(新) 物(新)

ホ (新) トコマラウツキリト ウツキリトニ夕 アカヌケ

ガミテ (新) 物あらび (澤) 子ニジ河 ものいしが

な (澤) ロガワルイ ものうき (新) キゴニヤ

ウナ (澤) ものりし (澤) 心ガスニヌ イヤキナ (物)

うい (澤) 物事ヨウガテニタ人 (物) うき

よ (新) ハナニスル 貴人 (物) 貴人 (物) 貴人 (物)

う (新) カタハニカラハナニスルもの

う (新) エイリノソウニモノ (澤) 物のけふし

ゼ (新) エイリノソウニモノ (澤) 物のけふし

ゼ (新) エイリノソウニモノ (澤) 物のけふし

キ (新) エイリノソウニモノ (澤) 物のけふし

キ (新) エイリノソウニモノ (澤) 物のけふし

物しとあふちキサリニオモフ
なり物しとあふち目サリニオモフ
ものしたるゆゑか

うにたままふたことと
久とあふちのこにりや
ものす 何スル何と定め
まはすてお後の

事体し入のおづくら心ゆるらるる
他一國にりして今老も物とり
そのとをたし

譯 ニモツラカシ おづみ 材 葉ものたしをま
とつてつらむなり

おづみ 新 ナニカニツケテエニリヨブカイ

物とりする 新 モノヲマル もれと申す 人を 新 マ

質たぐいりまやん
何れ向のやうにま 材 お 新 人 新 マ

ケギライ お けら 新 譯 ラナノア 又

云 材 圍 八 才 ち の 老 人 の さ ま れ
さうらひいそまきまけらるる

おしり 新 トコマラムサツイテものじ

つ 譯 公 サ ク サ ト ミ テ 井 ル お し 譯

モイタイガアル、ゼニメガアル 譯

ふナガラ **お**よりこに **新**ホカノ物ヨリモ **お**

うくソいとは **新**ベンカヨイ **お**びら

新ナニギソウニ **お**のすれぬ **新**ナニテモワ

スレヌもの **お**やめ **材** 負物の **新**モノワカチ

おのけらめ **新**モノワカチもの **け** **材** 石河

に出のわい所産の時或は所産病の時物怪し寄せて
古れを同の多し物怪しよとの女房を物をケと云 **新**ツキ

古ハ病を多くハ **モ**ノ モノ、ケトス **ヒヤウキ** **澤**ナニソノタリ 物

れ便 **澤**る **新**物 **の**いめ君 **澤**トコソノ

オヒメサマもの **新** 松注近衛の舎人の
中東遊達

ものを物筈と存す **お**まうら **新**サルトコロヘイク

洛外 **お** **新**エコヒイキスル

もは

もげらり(初)フツトモツハラ

(譯) 子カラサツハリ漢語の全よありん

例一向更よ 使く令く

もじ

もんざうはせ(材) 圓もんざうはせ一てごもん

もんもんぎさう(材) 圓もんもんぎさう文章博士也

かたがし進士と因くうり貢すまば

も

もくまぎ 相百官の府とくといふ正説一あらは

石木(初)まぎ一一所も百敷とまぎまぎなり

定(初)まぎまぎの言に梅と百石木とありや正義なり

下(初)まぎまぎと稱すなり言なり言なり

やうて(初)まぎまぎの言に柱とて召れる大宮とて

し(初)まぎまぎの言に明石出石とて類に昔は

し(初)まぎまぎの言に昔は

もうちり **材** 因もちりれつちも笛の音もちり
ぬらりてとりり万葉集に「ぬらりの

えのこまがりしむちりちりちりれと表そきまらぬとち
るもりむれと日音そと通ずれが群てむむとちりり又お
のく榎の葉と守りてしとそよや百千鳥の音のま
百千鳥とも五百の鳥ともちりりし百千鳥とも鳥の
一名ありて二度してこそよふ時を
百千鳥とも千鳥といれどもそよそ

もや

もや **材** 因母屋と音母の音ありて次おやの上界なりり日
本紀万葉などの音おおとよとよとのことあり

あ唯のー母と古言おもーいりてそつら恩の重きい
なりーおやと本とてそあくの屋をたれいー
たとの音まらにあまの子にゆれ
いとおやとつげふるちる
ま中りてそ主とゆら
あちりりこれ名なり

もゆ

もゆ **新** メガ出ル 草木
かり

もえ

もえぎもえ **新** モエヒナラモエシダイヨ也 火もえい

づら **新** メガ出ル 草木 もえき **材** **菜** 花のきりうり跡

若葉の少ききこしるるなりきこは葱の字にて青なり黄いあらは

もよ

もよ あ **新** サイソクスル

もる

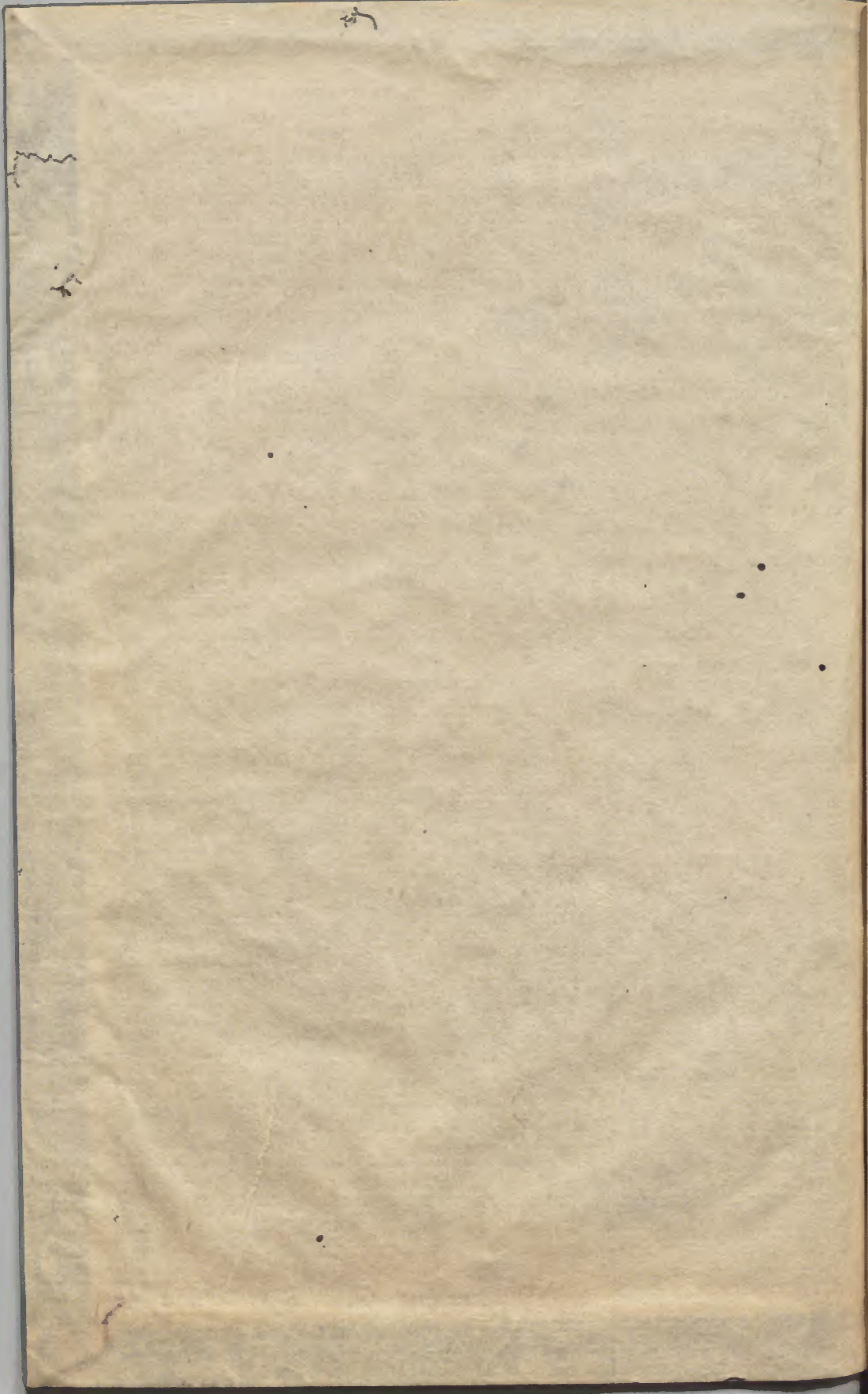
もろ **新** ロケニスル

もろ

もろ も **新** トモぐ こ **新** イツミ

ヨニトモぐニ **材** **寄** 心とのきん

もろ こ **新** コ、ロイツハイ



Handwritten text in the left margin, possibly a date or reference number, including the characters '三子' and '印'.

Multiple columns of handwritten text in a cursive style, likely in Japanese or Chinese, covering the right side of the page. The text is faint and difficult to decipher.

